

つなぐながれ広まれ

NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク③〉

特定非営利活動法人 衣川こぶしの会

衣川こぶしの会は、前身である衣川精神障害者家族会「和の会」の頃から、長く障がい者の自立を支援してきました。平成18年11月にNPO法人化。22年4月から、知的障がいや精神障がい、身体障がいのある人の就労や生活訓練を行う、多機能型事業所「星空クラブ」を運営しています。

「家に引きこもりがちな障がい者や家族を放っておけない」星空クラブ所長の阿部泰子さんは、活動の原動力をそう語ります。障がいがあると家にこもりがちになります。将来に不安を感じていても、自ら就労や自立のために施設へ通い始める人は多くはありません。会は、そのような人の力になるため、根気よく家庭

訪問を続けました。本人だけではなく、家族の理解を得るのに1年以上かかったことも。しかし、地道な活動が実り、20年以上も引きこもっていた人が通所を始めました。人と接することで、笑顔が増えて、会話もできるようになったそうです。

現在は、11人の施設利用者が6人の職員と一緒に、衣川総合支所と衣川保健福祉センター、公衆トイレの清掃や、木工細工、がんばり作りの作業を行い、就労訓練による利用者の独り立ちも支援しています。

利用者の自立への一歩を促しているのは、少人数施設のメリットを生かした細やかなサポート。一人一人の様子をよく見て「あなたならできる」と利用者に任せています。問題

が起きたら、利用者が自分で解決できるように、職員が少しだけ手助けをする。障がいの種類を越えて支えあうことで、お互いに「やればできる」という自信が生まれ、潜在する力が引き出されていきます。

こうした会の活動が知られるにつれて、がんばりを販売する産直や温泉も増え、木工材料のヒノキを格安の値段で業者が卸してくれるなど、次第に支援の輪も広がっています。

「助けを必要とする人はまだいる。放っておけない」そのためには「地域や関係機関・団体と連携したネットワークをつくる」と目標を掲げ、こぶしの会は今日も活動を続けます。

■特定非営利活動法人衣川こぶしの会（星空クラブ ☎ 4811）



衣川保健福祉センターを丁寧に清掃する星空クラブの皆さん

interview



衣川こぶしの会
理事長
千田 実さん（67）

引込み思案になってしまう障がい者と家族、その気持ちをくみ取ってサポートできるよう、周囲の理解を深めていくことが大切な仕事です。そのためにも「こんな活動をしているよ」と、積極的に情報発信していこうと思います。体調や気分には波のある利用者をサポートするため、「笑顔で楽しく」を心掛けています。



星空クラブ利用者
衣川区
千葉 慶一さん（55）

星空クラブになる前から通っています。一人暮らしなので、みんなと清掃作業や農作業をすることで、生活に変化があって良いです。旅行やカラオケも楽しめました。家から歩いて通えることも助かっています。衣川にみんなが楽しくなるような会社ができ、皆さんの手を借りながら、今よりも働くことができたらいいと思います。



NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎ 4200）までお問い合わせください。

●小正月行事・障がい者と家族等の地域交流会

日時：23年1月22日

午前9時～午後2時

場所：衣川保健福祉センター

内容：餅つきやみづきならし、歌やゲームなどを楽しむ地域交流会を行います。星空クラブの利用者のほか、県立前沢明峰支援学校の生徒も参加します。この機会に障がいへの理解を深めてみませんか

実施団体：星空クラブ

申し込み期限：1月7日

申し込み先：星空クラブ（☎ 3710、☎ 4811）

●認知症の人を支える家族の座談会・相談会

日時：12月19日 午後1時～3時

場所：市民活動支援センター

内容：認知症の人を介護するご家族のための情報交換会です。介護福祉士会による相談会を併せて行います。認知症の有無にかかわらず、高齢者や障がい者の介護についての相談も受け付けます。予約は要りませんので、直接会場にお越しください

参加料：無料

実施団体：たんこう認知症の人を支える家族の会

問い合わせ先：たんこう認知症の人を支える家族の会（菊池 ☎ 090-9746-7307）

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です